

# 未来を描く

【先輩職員からのメッセージ】

自分が“宮城を創る一員”だと  
 考えることで仕事の楽しさが  
 増していきます

保健福祉部 障害福祉課  
 企画推進班

おりたて あやか  
**折立 彩花**

平成29年度採用

行政・一般事務

主な経歴

平成29年度～ 塩釜国税事務所 納税第二班  
 令和2年度～ 東部地方振興事務所 農業振興部 農業振興班  
 令和5年度～ 保健福祉部 子ども・家庭支援課 助成支援班  
 令和6年度～ 現職

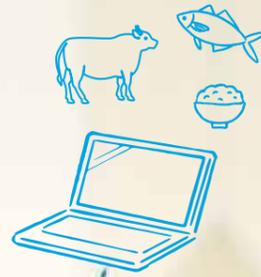
入庁する前は、県職員という仕事に堅いイメージを持っていましたが、実際には職場の雰囲気は柔らかく、その上で活気もあり、とても働きやすい職場だと感じています。また、県職員はおおよそ3年に1回部署異動があり、県内の様々な場所で勤務することになりますが、私はそれが魅力の一つだと思っています。県職員になって、3つの場所での勤務を経験しましたが、その土地の人や産業に触れ、魅力を再発見できる機会も多く、それが仕事のモチベーションにもつながっています。地方機関での勤務では、窓口業務や事業者との調整、交渉など、幅広い業務を経験できたことも良かったと思います。現在担当している障害者・障害児手当関係の業務は、既存の制度を前提としつつも、各自治体で独自に運用できる部分もあることから、日々、より効率的、効果的な形を模索しながら業務に取り組んでいます。決まりきったように見える仕事も、自分自身で考えながら取り組むことでやりがいと楽しさが湧いてきます。今後は宮城県でもデジタル化が急速に進んでいくことが予想されるため、市町村や県民のニーズを読み取りながら、業務がより効率的になる「未来」にしていきたいと思っています。

MESSAGE 宮城県職員を目指すあなたへ

県職員といっても様々な仕事があり、ひと言では表現できません。異動の度に新しく仕事を覚える必要があり、大変な面もありますが、様々な分野の仕事に携わることで視野が広がり、宮城県の魅力や課題に気づくこともでき、それがやりがいにつながっています。自分が「宮城を創る一員だ」と考えることで、仕事の楽しさが増していきます。宮城県が好きの方、宮城県に興味がある方は、ぜひ私たちと一緒に宮城の未来を創っていきましょう！



オフィス改革  
 推進!



宮城の未来をつくるために  
 創意工夫しながら  
 業務に取り組んでいます

農政部 食産業振興課  
 県産品販売支援班

きむら ゆうすけ  
**木村 友祐**

平成30年度採用

農業

主な経歴

平成30年度～ 東部地方振興事務所 農業振興部  
 (石巻農業改良普及センター)先進技術第一班  
 令和3年度～ 北部地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班  
 令和6年度～ 現職

大学で学んだ知識を活かして地元で貢献したいと考え、宮城県職員を目指しました。最初に配属された石巻農業改良普及センターでは、稲・麦・大豆などの栽培支援に携わりました。地域の農家の声を聞きながら課題に取り組み、「ありがとう」と言ってもらえた時には、仕事のやりがいを感じました。初めての異動先である北部地方振興事務所地方振興部では、製造業の人材確保の支援に携わりました。この時の経験は、農業が抱える課題解決にも通じるものがあり、人事異動により幅広い業務に携わることが、自身のスキルアップにつながるということを実感しました。現在の所属では、県産食品の販路拡大を支援しており、私はインターネットを通じた食品の販売支援を担当しています。将来的に多くの食品事業者がデジタル技術を活用した販売に取り組むことができるよう、全力で後押ししたいです。私が描く未来は、宮城が住みやすく、活力ある県としてさらに発展していく姿です。県民の声に寄り添い、宮城県の農政の発展に寄与していくことが目標です。そのために、専門知識を深めながら、積極的に一つ一つの業務に取り組んでいきます。

MESSAGE 宮城県職員を目指すあなたへ

宮城県職員には幅広い業務があり、多くの職員がそれぞれの専門分野で活躍しています。担当する業務は異なっても、すべての職員が「宮城県をより良い場所にしたい」という同じ志を持ち、宮城の未来をつくるために、創意工夫を凝らしながら日々の業務に取り組んでいます。宮城県を共に創り上げていく仲間として、志を共にする皆さんと働ける日を楽しみにしています。

